



1



2



3



4

東欧アニメ をめぐる旅 ポーランド・チェコ・クロアチア

Animation from East Europe : Creators in Poland, Czech, and Croatia

ようこそ 東欧アニメの世界へ

2度のアカデミー賞を獲得したアニメーション・スタジオ「セ・マ・フォル」の拠点、**ポーランド**の工業都市ウッチ。イジー・トゥルンカなど、人形アニメーションの伝統を誇る**チェコ**の首都ブラハと、カレル・ゼマンやヘルミーナ・ティールロヴァーが活躍した東部の都市ズリーン（旧ゴットヴァルドフ）。第二次世界大戦後に新聞漫画家や画家が集まってアニメーションを作り始めた**クロアチア**の首都ザグレブ。これら東欧の3カ国をとり上げ、それぞれの個性と伝統あるアニメーションを紹介するとともに、現代のアニメーション作品も展示します。

2014年9月27日【土】 — 2015年1月12日【月・祝】

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（ただし10月13日、11月3日、11月24日、1月12日は開館）、12月29日（月）～1月3日（土）

観覧料：一般1,000円(900円)20歳未満・学生850円(750円)、65歳以上500円、高校生100円

*（ ）内は20名以上の団体料金です。

* 中学生以下、および障害者手帳をお持ちの方は無料です。

* ファミリー・コミュニケーションの日：

毎月第1日曜日（今回は10月5日、11月2日、12月7日、1月4日）は、18歳未満のお子様連れのご家族は優待料金（65歳以上の方をのぞく）でご観覧いただけます。

* その他の割引につきましてはお問合せください。

* 無料開館日：11月3日（月・祝）「文化の日」は、神奈川県立近代美術館で開催中の3つの展覧会を無料でご観覧いただけます。

主催：神奈川県立近代美術館

協力：ポーランド映画製作者協会

ポーランド・アニメーション・プロデューサー協会

セ・マ・フォル、チェコ国立映画アーカイブ

バランドフ映画撮影所、カレル・ゼマン・ミュージアム

ザグレブ・フィルム

後援：駐日ポーランド共和国大使館、ポーランド広報文化センター、

駐日チェコ共和国大使館、チェコセンター、

駐日クロアチア共和国大使館

企画協力：株式会社イデッフ

助成：公益財団法人ポーラ美術振興財団

神奈川県立近代美術館 葉山

The Museum of Modern Art, Hayama

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1

tel. 046-875-2800

http://www.moma.pref.kanagawa.jp

●お問合せ先

神奈川県立近代美術館 葉山

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1

tel. 046-875-2800 / fax. 046-875-2968 / e-mail: fm4313.h6g@pref.kanagawa.jp

広報担当：土居、松尾、鈴木、川人 展覧会担当：靫山、朝木

● ポーランド共和国 Republic of Poland

セ・マ・フォルは、ポーランド中央部、かつて繊維工業の中心地として知られ、今なお石畳とレンガの街並を残すウッチに1947年に設立されたヨーロッパで最も歴史のあるアニメーション・スタジオのひとつです。人形によるストップモーション・アニメーション制作を得意とし、これまでに850本を超える作品を生み出しました。ズビグニュー・リブチンスキー（1949-）監督の『タンゴ』（1980年）とスージー・テンプトン（1967-）監督の『ピーターと狼』（2006年）により、アカデミー賞短編アニメーション部門で2度の栄冠を得ています。近年は、自主企画のみならず欧米や日本を含む海外のアニメーションの制作にも活動の幅を広げています。

その他、マレク・スクロベツキ（1951-）監督の『ダニー・ボーイ』（2010年）、クシシュトフ・ブショゾフスキ（1956-）などが監督した子ども向けアニメーション『フラッパーと友達』（2013年）などの現代作品を通して、ポーランドの誇る人形アニメーションの豊かな表現を紹介します。



5

● チェコ共和国 Czech Republic

チェコのアニメーション草創期に広告アニメーションから実験的なアニメーションまで幅広く製作したカレル・ドガル（1900-1986）。かつてドガルの創作と私生活のパートナーであり、後に、ズリーン（旧ゴットヴァルドフ）で『アリのフェルダ』（1944年）など人形アニメーションを撮ったヘルミーナ・ティールロヴァー（1900-1993）。焼失したティールロヴァーの作品をヒントにズリーンで『クリスマスの夢』（1945年）を撮り、後に『悪魔の発明』（1958年）などコマ撮りと実写を組み合わせたSF長編映画で一世を風靡したカレル・ゼマン（1911-1989）。戦前から挿絵や人形劇で活躍し、戦後まもなくアトリエ・フィルム・トリクでアニメーション映画を手掛け、『チェコの四季』（1947年）を始めとする人形アニメーションで国際的に高く評価されたイジー・トゥルンカ（1912-1969）。シュルレアリスムの表現としてのクレイ・アニメーションによって独自の世界観を築いたヤン・シュヴァンクマイエル（1934-）。

チェコのアニメーションに国際的な高い評価を与えてきた、これらの魅力的な個性に加えて、現代チェコを代表するアニメーション作家、ミハエラ・パヴラートヴァー（1961-）の『レペテ(反復)』（1995年）を紹介します。



6

● クロアチア共和国 Republic of Croatia

1956年にアニメーション・スタジオを設立したザグレブ・フィルム。そのグラフィック表現が特徴的な作品群から、アカデミー賞短編アニメーション部門で海外作品として初めて受賞したデュシャン・ヴコティチ（1927-1998）監督の『エアザッツ（代用品）』（1961年）、ボリス・コラル（1933-）監督のシンプルに描かれた犬と猫の親子が可愛い『ワン・ワン』（1964年）と戦争の影に怯えて軍拡に進む国家を風刺した『ブーメラン』（1962年）、ズラトコ・ボウレク（1929-）監督がイタリアと合作した『猫』（1971年）、ネデリコ・ドラギッチ（1936-）監督の『トン・トン』（1972年）、ヴラディミル・ユトリシャ（1923-1984）とアレクサンドル・マルクス（1922-2002）の共同監督による『悪夢』（1976年）、クレシミル・ズィモニッチ（1956-）監督の『蝶々』（1988年）などを紹介します。

とりわけ、『ブーメラン』のストーリーボード約190点とセル画約50点は、この展覧会のための日本側の調査で、ザグレブ・フィルムの倉庫から文字通り発掘されたものです。



7

写真図版キャプション

- クシシュトフ・ブショゾフスキ監督/他『フラッパーと友達』（2013年）の制作風景
- クシシュトフ・ブショゾフスキ監督/他『フラッパーと友達』（2013年）
- ポジヴォイ・ゼマン/カレル・ゼマン監督『クリスマスの夢』（1945年） provided by National Film Archive
- 『アリのフェルダ』（1944年）を制作するヘルミーナ・ティールロヴァー provided by National Film Archive
- マレク・スクロベツキ監督『ダニー・ボーイ』（2010年）
- ミハエラ・パヴラートヴァー監督『レペテ(反復)』（1995年）原画
- ボリス・コラル監督『ブーメラン』（1962年）セル画
- ズラトコ・グルギッチ監督/他『バルタザール教授』（1967年以降）セル画
- デュシャン・ヴコティチ監督『エアザッツ（代用品）』（1961年）セル画

〈関連企画〉



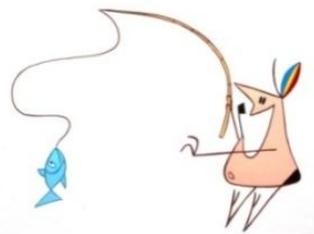
8

- オープニング記念講演会
日時：9月27日（土）午後1時30分～2時30分
会場：神奈川県立近代美術館 葉山 講堂
講師：パウリナ・グラ（セ・マ・フォルプロジェクト・マネージャー）
申込不要、無料
- 記念シンポジウム「東欧アニメをめぐる旅」
日時：2015年1月12日（月・祝）午後2時～4時
会場：神奈川県立近代美術館 葉山 講堂
トーク「東欧アニメへの誘い」水沢勉（当館館長）
パネラー：ヴィトルト・ギエルシュ（アニメーション作家）
越村勲（東京造形大学教授）
柴田勢津子（株式会社イデッフ）
司会：靱山昌夫（当館主任学芸員）
申込不要、無料

● 東欧アニメーション上映会
詳細は当館ホームページをご覧ください。

● 学芸員によるギャラリートーク
日時：10月13日（月・祝）、11月22日（土）、12月21日（日）
各日午後2時～2時30分
申込不要、無料（ただし「東欧アニメをめぐる旅」展の当日観覧券が必要です。）

* 日程および講演者等は変更となる場合があります。



9

● 県立機関活用講座「アニメの楽しさ・豊かさ」（全5回）

時間：各日午後2時～4時
会場：神奈川県立近代美術館 葉山 講堂
定員：各回70名（申込先着順受付）
受講料：各回1,000円（任意の回数で申込可）

① 10月18日（土）

講師：ジャン・ガスパール・パーレニーチェク（パリ・チェコセンター副館長）
ヴァーツラフ・トロヤン（同名の作曲家・ピアニストであるヴァーツラフ・トロヤンの子息）

※日本語への逐次通訳あり

② 11月1日（土）

講師：村田朋泰（アニメーション作家）

③ 11月15日（土）

講師：峰岸裕和（ストップモーション・アニメーター）

④ 12月6日（土）

講師：越村勲（東京造形大学教授）

⑤ 12月20日（土）

講師：板橋晴子（ハンガリー・アニメーション研究者、イラストレーター〈なぽちか はるこ〉）

* 詳細は当館ホームページをご覧ください。

